

# 敵公団の卑劣な切り崩しと内部からの裏切りを粉碎して、 より力強く前進を開始した不屈の反対同盟

## 「一切の話し合い拒否、農地死守、二期実力阻止」 労農連帯を堅持して闘いぬくぞ！

政府・空港公団・権力の全力を投入した本格的二期攻撃を断固として粉碎しなければならぬ。敵権力の二期攻撃のすさまじさ、卑劣さは、三里塚十七年の闘争史上類例のない凶暴さをもって、今三里塚闘争の軸たるべき、反対同盟におそいかかっている。反対同盟は、直ちに、不屈の三里塚農民魂をふるいたたせて、全面反撃に立ち上った。そして、内部の裏切りをうちくदैいて、「一切の話し合い拒否、空港絶対反対・農地死守」の同盟基本路線のもとに、ますます固く団結して、より強く前進している。

昨年十二月、運輸省服部が突如として現地にのり込んできた。敵は、三里塚反対同盟そのものを根こそぎ屈服させ、三里塚闘争を、完全に「条件闘争」へと変質させ、「話し合い」↓土地買収↓二期工事着工へと、一気におしすすめるべく、同盟内に「条件派」↓「和解・屈服派」を育成しようとして、卑劣な策動を進めていたのである。

しかし、今や、その卑劣な策動、裏切り路線は、断固としてうちくदैかれた。反対同盟農民の「話し合い」和解交渉などをもってのほかノ農地死守こそ同盟の基本路線だ。これを裏切ることは絶対に許さない」の圧倒的怒りと決起の中で開かれた二月十日の幹部会で、条件交渉へ道を開こうと、公団と秘密交渉をもった石橋副委員長・内田行動隊長の幹部は、それぞれ役職を解任され、同盟の基本路線は、より一層固くうちかためられた。敷地内・敷地外こそって今、反対同盟は、「雨降って地固まる、だ。むしろいいことだ。勝てる」と意気高く前進している。

勝利への展望が、  
はつきりと見えた！

敵が、このような卑劣・凶暴な「話し合い」路線↓同盟分断攻撃にでてきたということは、逆にいえば、農民が土地を売らないかぎり、二期着工の展望が一さいもてないという事の逆証明であり、そのために「話し合い」しか残されていないことを、自己暴露した事である。敵がいかなる手段、権力という強権をもってするどろ喝も「話し合い」↓「条件派への路線転換」を乞い願うが故である。故戸村一作委員長のことば「いかなる情勢になっても、『話し合い拒否』の三里塚闘争の原点を闘



82.2.15  
No. 968

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)四三(22)七二〇七

い抜けば、必ず勝てる」という、この鮮明な決意を、あらためてみずからの決意としなければならぬ。又「幾年という長期戦を闘うこと、この闘いの中でもっとも恐るべきことは、内部の動揺と裏切りである。これをきびしく闘いとしていしましめる。そうすれば、何年かかろうが、すでに勝利の六〇%はわれわれのものである」この故戸村一作委員長の決意こそ、三里塚を闘う、全国の幾十万人の人民の闘いの決意である。

労農連帯の偉大な旗を、  
更に更に高くかかげて、進もう

われわれも動労千葉いな、労働者として、労働者の本隊として、三里塚反対同盟との真の労農連帯をかけて、この原点を堅持して、闘い進むものである。これ以外にわれわれの進む道はないし、このみか偉大な勝利をかちとる唯一の道である。三・六労働者集会を何があんでも圧倒的にかちとり、三・二八三里塚への最大結集をかちとろう。内部の裏切り・裏切り者を断固として自ら処断し、基本路線・原点を死守して、より一層力強く前進している偉大な三里塚農民の不屈の闘いに、われわれは、無上の感激をもって、断固支持・連帯し、共に闘う決意を明らかにする。  
三・六集会の大結集をもって、これにこたえよう。



敷地内で闘う反対同盟の決意

||ともに闘えることが  
うれしい||

(天神峰)市東東市さん

今必要なことは何か、と戸村さんは言った。「我々と敵は水と油の関係であって、話し合いの余地はない。我々の辞書には、「話し合い」という言葉はない。ただ非妥協・不退転にたたかろうことだけだ。そして、諸君との階級的責任をはたしたい。これはそんなにむずかしいことではない。私はたたかいがやめられない。皆さんとともにたたかえろということがうれしくてたまらない。私は最後までたたかいたい、なんとしても勝利する。